

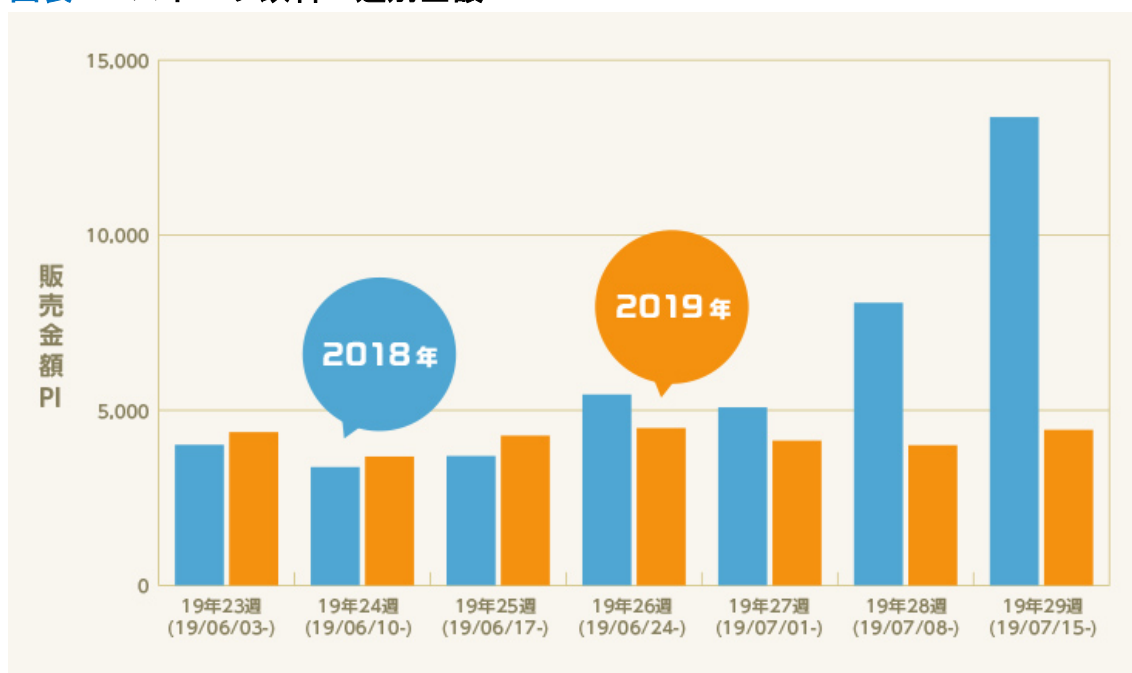
食品 SM における天候不順時の購買行動

株式会社ショッパーインサイト 主任コンサルタント 矢野尚幸

ここ数日、夏らしい気温になりつつありますが、2019年の6月下旬から7月中旬にかけて、例年よりも気温が低く、雨量の多い日が続きました。このような状況では、夏場に需要が高まるカテゴリーへの購買に影響を及ぼしたと考えられます。そこで、夏場に需要が高まるスポーツ飲料、乾燥冷麦・素麺、マルチパックアイスの動向に関して rsSM データを用いて分析しました。

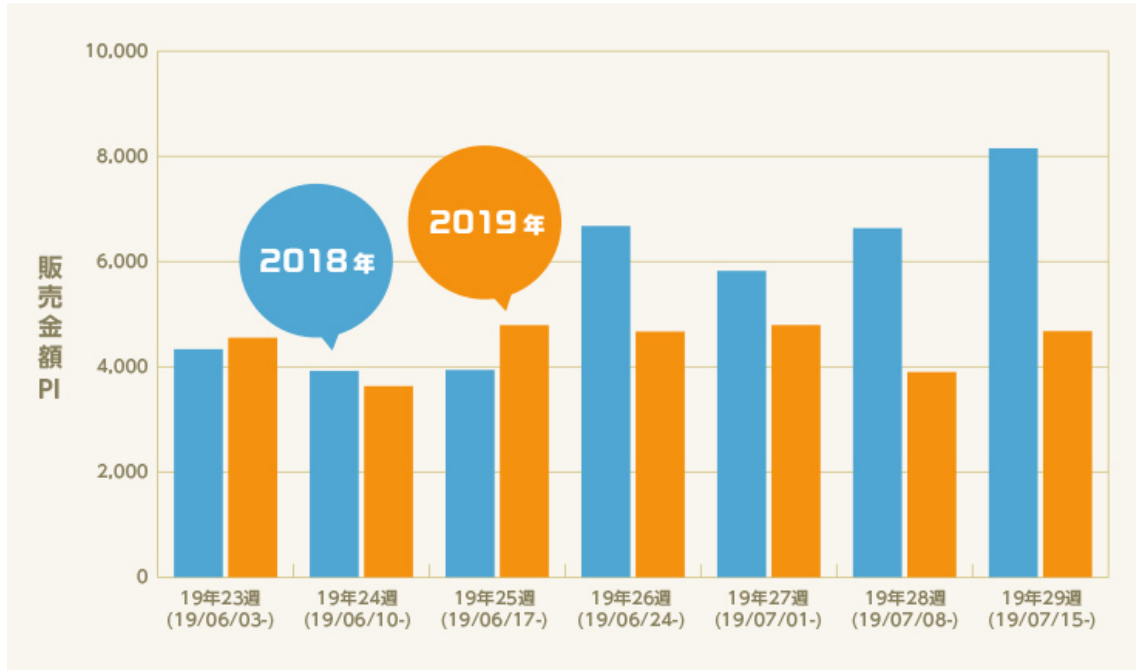
まず、上記3カテゴリーの週別金額PIを集計し、前年同週と比較しました(図表1~3)。3カテゴリーともに6月17日週までは、前年並み、前年を上回る週が多いことがわかりました。一方、6月24日週以降は前年を下回る週が多く、特に7月15日週は3カテゴリーともに前年を大きく下回る金額PIとなりました(スポーツ飲料対前年比33.2%、乾燥冷麦・素麺57.3%、マルチパックアイス69.0%)。

図表1 スポーツ飲料 週別金額PI



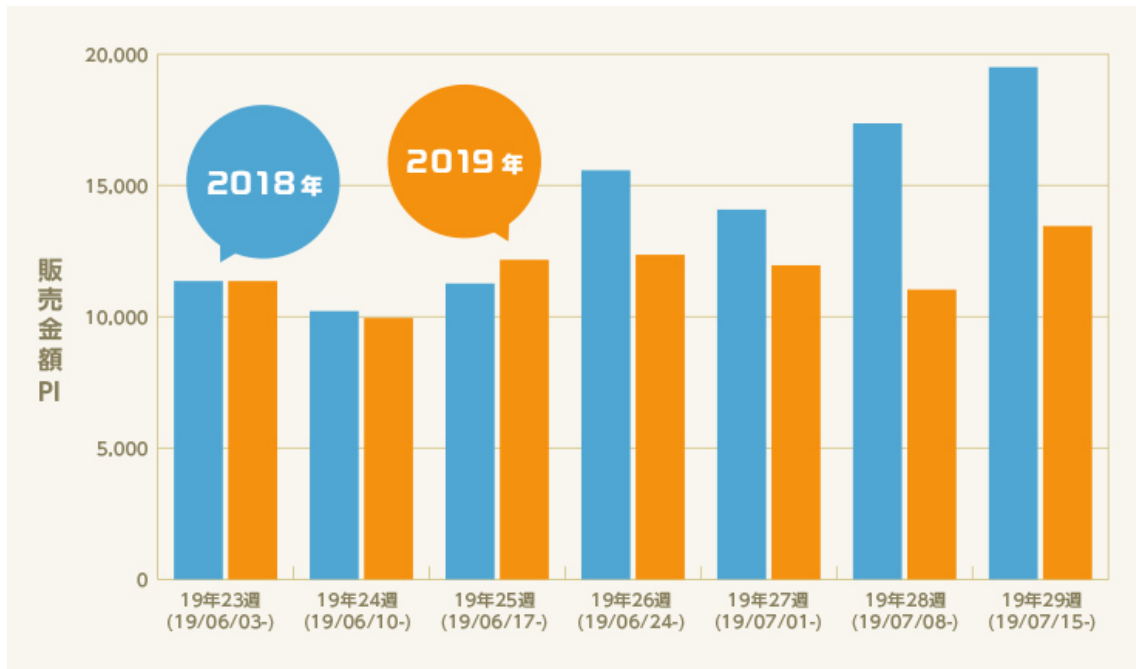
※2018年は対前年同週

図表 2 乾燥冷麦・素麺 週別金額 PI



※2018 年は対前年同週

図表 3 マルチパックアイス 週別金額 PI



※2018 年は対前年同週

次に、上記 3 カテゴリーの周辺カテゴリーの動向も併せて、期間中の金額 PI を前年と比較しました（図表 4～6）。

図表 4 麺類カテゴリ—金額 PI

カテゴリ	18年6月1日～7月15日	19年6月1日～7月15日	対前年比
乾燥そば	1,241.3	1,191.7	96.0%
乾燥パスタ	2,715.3	2,825.4	104.1%
乾燥冷麦・素麺	5,237.4	4,471.6	85.4%
生・ゆでうどん	3,004.9	2,909.5	96.8%
生・ゆでそば	2,310.3	2,273.6	98.4%
生・ゆでラーメン	6,836.0	6,784.8	99.3%
生・ゆで焼きそば	3,408.2	3,525.1	103.4%

主な麺類カテゴリの動向を見ると、乾燥冷麦・素麺が大きく減少した一方、乾燥パスタ、生・ゆで焼きそばは前年を上回りました。

図表 5 飲料カテゴリ—金額 PI

カテゴリ	18年6月1日～7月15日	19年6月1日～7月15日	対前年比
コーヒー飲料	15,694.9	15,351.8	97.8%
スポーツ飲料	4,944.9	4,222.6	85.4%
ミネラルウォーター	8,033.5	7,365.6	91.7%
飲用酢	1,359.7	1,786.1	131.4%
機能性飲料	2,195.2	1,955.2	89.1%
炭酸飲料	14,175.9	12,812.8	90.4%
茶系飲料	22,431.4	21,752.0	97.0%
牛乳	29,811.5	30,222.1	101.4%
豆乳	4,101.9	4,490.8	109.5%
乳酸菌飲料	17,123.9	16,097.6	94.0%
乳系飲料_他	1,644.5	1,765.1	107.3%

主な清涼飲料、乳系飲料カテゴリの動向を見ると、スポーツ飲料をはじめ、ミネラルウォーター、炭酸飲料等が大きく減少した一方、飲用酢や豆乳などは前年を上回りました。

図表 6 アイスクリーム、ゼリー・プリンカテゴリー金額PI

カテゴリ	18年6月1日～7月15日	19年6月1日～7月15日	対前年比
ノベルティアイス	14,208.6	12,430.2	87.5%
プレミアムアイス	3,769.0	3,575.6	94.9%
マルチパックアイス	13,336.1	11,602.0	87.0%
ゼリー	7,148.6	6,809.3	95.3%
プリン	3,240.0	3,373.5	104.1%
ゼリー・プリン_他	1,140.5	1,608.2	141.0%

主なアイスクリーム、ゼリー・プリンカテゴリーの動向を見ると、マルチパックアイスなどアイスクリームは軒並み前年を下回った一方、プリン、ゼリー・プリン他は前年を上回りました。

このように、天候が不順になったことで、夏場に需要が伸びるカテゴリーの金額PIが減少した一方、周辺のカテゴリーは前年を上回る傾向が見られました。そこで、金額の流出入の状況を集計しました。

下記の結果は、主要飲料カテゴリーの2018年7月1日～20日と2019年7月1日～20日におけるカテゴリー別流出入差（100人当たり）を集計したものです（図表7）。

図表 7 主要飲料カテゴリー流入出差（購入者100人あたり：金額）

	コーヒー飲料	スポーツ飲料	飲用酢	ミネラルウォーター	茶系飲料	豆乳	牛乳
コーヒー飲料		127.84	-28.22	26.11	-2.49	-30.82	-60.35
スポーツ飲料	-127.84		-30.89	-52.99	-183.93	-51.67	-219.66
飲用酢	28.22	30.89		21.14	44.50	4.89	34.22
ミネラルウォーター	-26.11	52.99	-21.14		-19.82	-32.49	-98.15
茶系飲料	2.49	183.93	-44.50	19.82		-40.62	-101.32
豆乳	30.82	51.67	-4.89	32.49	40.62		77.57
牛乳	60.35	219.66	-34.22	98.15	101.32	-77.57	

スポーツ飲料は上記7カテゴリ全てに流出しました。特に、コーヒー飲料、茶系飲料、牛乳への流出金額が多くなりました。

茶系飲料は、スポーツ飲料からは流入したものの、牛乳や飲用酢、豆乳へ流出しました。牛乳はスポーツ飲料などから流入したものの、飲用酢や豆乳へ流出しました。飲用酢や豆乳は、金額は大きくないものの、各カテゴリから流入しました。

飲用酢や豆乳が好調なのは季節需要だけが原因ではありませんが、天候不順が流入に拍車をかけたものと推測されます。8月以降、夏らしい気温になった際に、スポーツ飲料等が重要を回復できるのか注目されます。